

平成28年度「高校生社会参加促進事業」の取組概要

番号	14	学校名	畷傍高等学校
----	----	-----	--------

1. 取組名

「はたごの音楽祭」

2. 活動内容

橿原市の八木札の辻交流館で行われた「第2回はたご音楽会」は昨年度から同市が地域の人たちに音楽を聴いてもらおうと催しているもので、2回目の今年は吹奏楽部、音楽部とフォークソング部が参加した。

フォークソング部は、有志2組が参加し演奏を行った。2組ともアコースティックギターによる演奏を行い、2曲ずつ計4曲演奏した。



吹奏楽部はオーボエ

&ファゴット4重奏、サックス4重奏、金管6重奏の3グループが出演した。演奏曲は、オーボエ&ファゴット4重奏が「ジブリ・アニメ・メドレー」「アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク」、サックス4重奏が「アリオーソとトッカータ」「宝島」、金管6重奏が「スカルプチャー・イン・プラス」の5曲。クラシックからポップスまで様々

なジャンルを演奏した。

音楽部は女声合唱を演奏した。滝廉太郎の名曲「花」や唱歌「おぼろ月夜」、ラテン語のアカペラ曲、テレビCMの「積水ハウスの歌」や「海の声」等、様々なジャンルの曲を演奏した。プログラムの最後はドラマで流行した「恋」ダンスを交えて演奏した。ダンサーに扮した生徒は、色とりどりのカーディガンを着用し、カチューシャを頭につける等、工夫を凝らしていた。最後は、「ふるさと」を会場の皆さんとともに全員合唱した。



3. 成果と課題

地域の人々に高校生の日頃の活動を知ってもらう良い機会となった。また、生徒たちも各部25分間という限られた時間ではあるが、曲構成、舞台進行、司会、衣装等、生徒主体で取り組めた。閉会后、お客様から「ありがとう」の言葉をかけられ、「地域の方に喜んでもらえるステージ」をコンセプトに舞台をやり終えた達成感が生徒たちの心に芽生えたようだ。しかし、江戸時代に建てられた旅籠で畳にふすまという会場の条件や地域の方々から聞いていただくことを前提とすると、聴衆の方々を引き込む演出や演奏方法にもう少し工夫が必要であったように感じた。「来年は、もっと皆さんに楽しんでもらえるような選曲やアレンジをしたい」という生徒の感想からもこの交流が生徒にとっても、自分たちを表現するよい機会になっていると感じた。